

KAGG



SHIMA



GAMU



RYU 2025

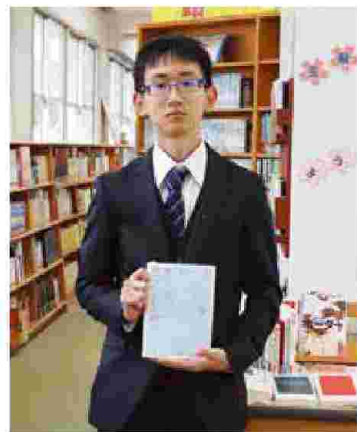
九州大学 理学部数学科 合格

「玉龍高校で見つけた『夢』と『友』」 稲富 晴太 長田中学校出身

私は玉龍高校でとても充実した三年間を送ることができました。玉龍生は高い目標を持つ人が多く、特に玉龍中学校からの進学者は早い時期から大学受験を意識しており、そのような方々と過ごした三年間はとても良い刺激になりました。また玉龍高校には一人一人の進路実現を手厚くサポートして下さる先生方がおり、いつも生徒の質問に丁寧に説明して下さいます。

私は数学が大好きで、将来は数学という学問を追究したいという「夢」を持つようになり、九州大学の数学科を目指すようになりました。しかし、その道は険しく、大好きな数学を途中何度も嫌いになることがあり、その結果、勉強することが辛いこともありました。そんな時に私の支えとなったのは、玉龍で出会った「友」の存在でした。挫けそうになったとき、隣で頑張る友の姿を見て、自分も負けまい、と気持ちを奮い立たせ、前を向いて頑張ることができました。

玉龍高校では、将来の夢を見つけ、同じ目標に向かって共に励むことのできるかけがえのない存在に出会えます。自分を成長させることのできる玉龍高校で、是非、夢実現に向けた一歩を踏み出してみませんか？



一橋大学 商学部 合格

「玉龍で創る新たな自分」 鮫島 颯翔 鹿児島玉龍中出身 野球部

私は、玉龍で充実した学校生活を送ることができました。玉龍は、中高一貫校ということもあり、行事がとても盛んです。特に、玉龍郷中では、中学生に勉強を教えることを通して、自分の学習への理解をさらに深めることができます。

また、玉龍は、部活動にも一生懸命取り組んでいる生徒が多いです。私自身も野球部に所属し、仲間と甲子園を目指して練習に励んでいました。きついことも多くありましたが、仲間とともに一つの目標に向かって本気で取り組んだ日々は一生の宝です。

勉強面では、私たちの熱意を超えるほど熱心に指導して下さる先生方が多くいらっしゃるのので、心配することはありません。進路や成績で悩んでいるときには先生方が皆さんの心強い味方をして下さいます。もちろん、勉強で分からないところがあれば、授業時間以外でも丁寧に教えて下さいます。私自身も受験期には多くの先生方に支えられ、第一志望の大学に合格することができました。

玉龍は、皆さんの本気の活動に応えてくれる場所です。一度きりの高校生活を玉龍で過ごしてみませんか。



神戸大学 国際人間科学部グローバル文化学科 合格

「玉龍で得られるもの」 松木 陽 鹿児島玉龍中出身 美術部・放送部

玉龍は、夢を追うあなたを全力でサポートしてくれる学校です。

中入生と高入生と一緒に学べる環境は、互いにより刺激を与えてくれます。また、先生方は進路実現のために様々な面からサポートして下さいます。進路に悩んだときは、どんなときでも相談に乗りアドバイスをくださいましたし、分からない問題があれば、納得のいくまで丁寧に指導して下さいました。このような環境で6年間過ごせたから、私はようやく自分が夢中になれることに出会い、なりたい自分の姿を見つけたのだと思います。そして、その夢を実現するために1番行きかけた大学へ合格することができました。

私は美術部と放送部に所属し、総文祭では美術・工芸部門の実行委員長も務めました。もちろん勉強との両立は大変で、投げだしたくなることもありましたが、それでも玉龍には、勉強や部活、学校行事など様々なことに全力で取り組む生徒が大勢います。そして、そんな仲間の存在が、私の心の支えとなり、受験を乗り越える大きな励みになりました。

あなたもぜひ、玉龍で高校生活を送ってみませんか。きっと、素敵な仲間や先生に出会い、自分の進むべき道を切り拓けるはずです。



奈良女子大学 理学部科学生物環境学科 合格

「楽しかった玉龍での3年間」

畑 心優

帖佐中学校出身
写真部

私は、玉龍高校であつという間の充実した3年間を過ごすことができました。私は、高校から進学したので、中学から進学する生徒が半分を占める玉龍高校に進学することが最初は不安でした。しかし、中入生が分からないことを優しく教えてくれたり、部活動やクラスを通して、中入生、高入生の垣根を越えて多くの友達を作ることができました。

授業では、分からないことがあるとすぐに友達や先生方が教えてくれました。また、私は数学や生物の添削指導をしてもらいました。玉龍高校には生徒一人一人に全力でサポートしてくれる先生方がいます。受験期には、何回受けても乏しい結果になる模試や刻一刻と近づいてくる共通テストや2次試験で胸が押しつぶされそうになりましたが、励まし合って、お互いを高め合うことができる仲間のおかげで前を向いて闘うことができました。

また、玉龍高校は玉中戦や昇龍祭、体育祭など楽しいイベントがたくさんあります。私は、特に体育祭での応援団の演舞や熱気ある応援にとても感動しました。

みなさんも鹿児島玉龍高校で素敵な思い出をつくり、進路実現のために頑張りませんか？



福岡教育大学 教育学部初等教員養成課程芸術・実技教育プログラム 合格

「玉龍を最高に楽しむ」

有嶋 太吾

松元中学校出身
野球部

私は玉龍高校で最高の3年間を過ごしました。

玉龍は、中学生と高校生がいて、常に活気がある学校です。「高入生」と「中入生」という聞き慣れない言葉がありますが、すぐに区別なく仲良くなります。体育祭や文化祭は、文武両道の玉龍ならではのハイレベルな迫力！競技も発表も応援も全力で楽しめます。生徒も先生もみんなで学校を盛り上げ、互いに優しくなれる雰囲気を作るのが、玉龍の1番の魅力だと思います。

私は野球部に所属していました。毎日の厳しい練習の中でかけがえのない仲間ができ、先生方の指導で本気で取り組むことの大切さを学びました。野球を通して磨いた力は、学校生活や勉強にも繋がったと思っています。特に受験期には、心から楽しめる仲間と力強くサポートして下さる先生方の存在は大きかったです。あと、忘れてならないのが購買部や学食のおばちゃん達。いつも優しく笑顔で声をかけてくれます。メロンパンとうどんはおすすめです！

みなさんも玉龍を最高に楽しんでください。



鹿児島大学 理学部理学科 合格

「玉龍で過ごした青春」

秋葉 大馳

鹿児島玉龍中出身
硬式テニス部

私は玉龍で高校3年間を過ごせて良かった、と心から思います。互いに助け合ってきた友達や、生徒一人ひとりの進路に向き合ってくれる先生方、緑に囲まれ穏やかな雰囲気の漂う環境に支えられ、私は希望する進路を実現することができました。

私の高校生活を振り返ると、勉強においては、学年が上がるにつれ授業の内容は難しくなりましたが、分からないところは友達や先生方に質問したり、テスト前にはクラスメイトと一緒に勉強したりと、同じ志を持つ友達と進路実現に向けて頑張ってきました。また部活動では、キャプテンとしてチームをまとめる難しさに心が折れてしまうこともありましたが、チームメイトと本音を何度もぶつけながら、少しずつ1つの目標に向かえるようになり、県総体まで少しでも昨日の自分より成長を実感できるよう練習を重ねていきました。これらを成し遂げることができたのは、玉龍の環境だからこそだと思います。

高校生活は中学生活に比べて、勉強も部活もハードになり、つらいと感じることもありますが、県内から集まる仲間と過ごす充実した生活はあつという間に感じるほど楽しかったものでした。今、皆さんは自分の進路や高校生活にドキドキや不安を感じているでしょう。玉龍には皆さんの夢を実現する環境が揃っています。是非、一歩踏み出した先にあるあなたの可能性を広げてくれる濃密な3年間の青春を玉龍で過ごしてみませんか。



夢のステージへの架け橋



鹿児島玉龍高等学校長

Ata Takefumi

阿多 威文

誰もが何かしらの夢を抱いています。では、その夢をかなえるにはどうすればいいでしょう。

2023年に創立100周年を迎えたウォルト・ディズニー・カンパニー。その創業者ウォルト・ディズニーは次のように語っています。

『The special secret of making dreams come true can be summarized in four C's. They are Curiosity, Confidence, Courage, and Constancy.』（夢をかなえる秘訣は、4つの「C」に集約される。それは「Curiosity-好奇心」「Confidence-自信」「Courage-勇気」そして「Constancy-継続」である。）

「Curiosity-好奇心」好奇心とは、物事を探求しようとする気持ちのことです。玉龍にはあなたの好奇心をかき立てるワクワクするような出会いがたくさんあります。

「Confidence-自信」自信とは、自分の価値や能力を信じることです。玉龍での学びを通してあなたに自信がみなぎります。

「Courage-勇気」勇気とは、困難や危険を恐れずに立ち向かう気持ちのことです。玉龍の仲間はあなたに一步を踏み出す勇気を与えてくれます。

「Constancy-継続」継続とは、物事を続けることです。夢をかなえるために努力を継続できるかどうか、それはあなた次第です。

玉龍には、行動をもってこれからの在り方を示唆してくれる先輩方がいます。時に励まし合い、時に競い合う級友たちがいます。玉龍での毎日が、きっと夢のステージへの架け橋となるはずで、4つのCを胸に、この玉龍で希望に満ちた未来、夢をつかみに行きましょう。

由緒ある学舎



本校の校舎が建っている敷地は、かつて薩摩藩時代の名刹であった「玉龍山福昌寺」が500年の歴史を刻んだ跡です。この福昌寺は旧藩主島津家の菩提寺であったと同時に、藩内随一の学問所として教育・文化の一大中心を成していました。明治維新の原動力になった先人達も、指導を受けています。この由緒ある史実にあやかり「行学一体」の鍛錬精神と「文武両道」の精神を本校教育のよりどころとし、その象徴として校名が「玉龍」と制定されたのです。平成2年、創立50周年記念事業の一つとして新体育館が建設されましたが、その発掘調査のとき、寺門にあった場所から中央部のへこんだ大きな踏み石が出てきました。それを見ていると、わらじ履きのすずやかな目をした若い学僧たちが、行脚のために出入りする様子が目に浮かんでくるようです。

本校は、このような学問の場にふさわしい環境のもとで、偉大な先人の精神を台木に青少年の心を接ぎ木し、新しい時代の教育の殿堂にしようと、鹿児島市が創立した普通科の高校です。

自覚に裏打ちされた自由な校風

昭和15年創立の鹿児島市立中学校と鹿児島市立高等女学校を前身とし、昭和25年鹿児島県玉龍高等学校、昭和32年に鹿児島玉龍高等学校と改められ、潑刺・躍進・玲瓏の校訓のもとに、発足した男女共学の学校です。

校名の「玉龍」は「玉龍山福昌寺」の跡に創設されたことに由来し、「玉」を中心に龍舌蘭三葉をもって包む校章は、玉の如き円満な人格と昇竜の如く躍進、向上する若さを象徴するものです。

令和2年に創立80周年を迎えた本校では、その間に培われてきた「文武両道」を合い言葉に、日々心身を鍛練し、知識を磨き、活気あふれる学校生活を生徒たちは送っています。一人一人の個性を大切にしながら各人の可能性を最大限に伸ばすために、学習環境の整備はもちろんのこと、学び方を学ばせるといふ基本方針のもとに、若いエネルギーを燃焼させています。混沌とした思考を重ねているうちに、機が熟せば先が見通せるようになるということを信じつつ、日々躍進している玉龍なのです。

現在の制服



鹿児島市立中学校



鹿児島市立高等女学校(鶴嶺高等女学校)



校訓：潑刺・躍進・玲瓏

校章



進路実現のために

「人生は選択の連続である」と言われますが、普段生活している中で私たちは様々な選択をしています。そのほとんどは些細な選択の連続かもしれませんが、今中学3年生の皆さんは大きな選択の時を迎えようとしていますね。

最適な選択をするためには、確かな知識と経験が必要です。しかし、それだけではまだ不十分です。様々な情報を整理し、状況に応じた的確な思考力や判断力も求められます。これは高校での学び、そして次に控える大学入試にも必要不可欠です。そのためにも、確かな知識と経験を基に自分の考えを根拠とともに表現し、「自ら考える」習慣をつけることが大切です。

みなさんの高校選択の最適解が、ここ玉龍であることを祈っています。

さて、玉龍高校は、創立以来のモットーである「文武両道」の実践と充実を図りながら、生徒一人ひとりの個性を大切に、これまで培ってきた人格と学力のさらなる向上を目指している学校です。

多くの生徒が大学進学を目標とし、朝課外や授業で学力をつけ、放課後は県大会上位入賞、全国大会出場を目標に部活動に取り組んでいます。朝早くから登校し、授業を受け、その後、部活動に参加して帰宅、それから翌日の授業の予習や宿題をする「文武両道」の実現は簡単なことではありません。しかし、玉龍には「チーム玉龍」という言葉があります。くじけそうなとき、困難に直面したとき、まわりには共に同じ目標に向かって頑張っている仲間がいる、それをサポートする先生がいる、支えてくれる家族がいる、そんな玉龍生を応援するすべての人が「チーム玉龍」です。



進路指導主任
松元 拓也

玉龍高校では、進路実現のために、次の5つのことに一生懸命取り組むことを生徒に求めています。

- 1 予習・授業・復習のサイクルの確立 …………… 授業が一番大切
- 2 規則正しい生活習慣の確立 …………… 起床・自宅学習開始・就寝の時間を一定に
- 3 学習習慣の確立 …………… 課題を確実にこなす
- 4 わからないときはすぐに質問 …………… 積極的に行動していこう
- 5 志望校の研究をする …………… 目標を具体的に知る

どれも当たり前のことです。受験勉強に特別なことは必要ありません。その学年、その月、その週、その日の学校の授業や行事、そして宅習に一生懸命取り組めば、着実に学力が付き、志望する大学に合格できます。三者面談や二者面談の時の担任の先生からの指摘や助言を謙虚に素直に真面目に受け入れて学力向上に努めることが進路実現には欠かせません。ただ、当たり前のことを当たり前にするには相当の自律心が必要なのも事実です。したがって、受験勉強は頭だけでなく、心を磨くチャンスでもあるのです。「受験」という知的冒険を経験し、心を磨く場所、それが玉龍高校です。高校受験で心を磨き、さらに素敵な人格へと成長したみなさんが、「チーム玉龍」の一員に加わり、ともに夢の実現を目指すことができるのを楽しみにしています。

令和6年度入試国公立大学 合格者数 133名

北海道大学	1名	京都大学	1名
筑波大学	1名	大阪大学	2名
千葉大学	1名	九州大学	6名
東京大学	1名	鹿児島大学	49名
一橋大学	1名	・医学部医学科	2名

国立大学 110名

東京学芸大学	1名
東京農工大学	1名
横浜国立大学	1名
静岡大学	1名
名古屋工業大学	1名
愛知教育大学	1名
京都教育大学	1名
京都工芸繊維大学	1名
神戸大学	1名
奈良女子大学	1名
和歌山大学	1名
広島大学	5名
山口大学	1名
徳島大学	2名
九州工業大学	2名
福岡教育大学	2名
佐賀大学	1名
長崎大学	5名
熊本大学	5名
大分大学	2名
宮崎大学	4名
琉球大学	7名
その他	

公立大学 23名

横浜市立大学	2名
静岡文化芸術大学	1名
神戸市外国語大学	1名
芸術文化観光専門職大学	2名
県立広島大学	1名
周南公立大学	2名
北九州市立大学	8名
長崎県立大学	2名
熊本県立大学	2名
宮崎公立大学	1名
沖縄県立芸術大学	1名

私立大学 249名

東京理科大学	1名
津田塾大学	1名
早稲田大学	1名
横浜薬科大学	1名
中京大学	1名
同志社大学	7名
立命館大学	7名
関西大学	3名
関西学院大学	2名
近畿大学	4名
西南学院大学	10名
福岡大学	26名
崇城大学	10名
鹿児島国際大学	51名
鹿児島純心大学	3名
志學館大学	21名
第一工科大学	4名
その他	

合格者数は過年度卒生を含みます



前期

4 5 6 7 8 9 10 11

入学式
一日遠足
スポーツ交歓会

勸学祭
生徒総会
生徒会役員選挙
定期演奏会

昇龍祭(文化祭)

クラスマッチ

体育祭

芸術鑑賞会
長距離走大会
マタデイ高校との交流

玉龍文化の祭典「昇龍祭」

令和5年度の昇龍祭テーマは「一度限りの青春を、いつまでも消えない思い出に」でした。この言葉にはどんな状況の中でも、チーム玉龍一丸となって最高の笑顔で、最高に楽しむ昇龍祭をつくりたいという気持ちが込められています。生徒会を中心として生徒たち自身が作り上げる玉龍昇龍祭は毎年熱気に溢れ、見どころ満載。

多くの方に来校いただき、好評を得ています。各学級・有志・部活動単位での参加があり、ステージ・展示発表・バザーなど、個性豊かな発表の場となっています。

玉龍で国際交流!!

玉龍高校は「真の学力をもち、国際社会に対応できる生徒」の育成を目指しているため、たくさんの国際交流の機会があります。Stanford e-Kagoshima CityプログラムでStanford大学専任講師によるオンライン授業を受けたり、姉妹校のマタデイ高校の生徒たちをホストファミリーとして受け入れて一緒に授業を受けたりすることができます。





国内体験学習 修学旅行（関西）



昇龍祭（文化祭）



スポーツ交歓会

後期

12 1 2 3

修学旅行（2年）

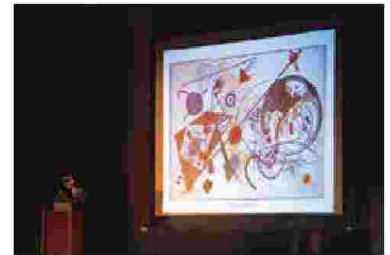


国内体験学習 修学旅行

平成27年度から令和元年度までは国外体験学習として台湾に3泊4日の日程で訪問していました。その後の令和2年からは行き先を国内へ変更し、現在は、伝統ある日本文化を継承している京都・奈良の文化遺産に触れながら学習を深め、生きた教養の育成を目指しています。また、日本へ留学している学生とSDGsについてのディスカッションプログラムもあり、国内にいながら国際交流体験をすることができます。現在の日本文化や経済が異文化との共生にあることや、世界が抱える問題について、地球規模でその解決策を考えることができるため、グローバルな視野を拡大させる機会としています。さらに、班別の自主研修では、日ごろの学習の成果を試すことができるだけでなく、今後の意欲ある学校生活や将来の進路設計に役立つ発見があることでしょ。



長距離走大会（桜島）



グローバルマインド発表会

卒業式

クラスマッチ

グローバルマインド発表会



グローバルマインド発表会

高校1・2年生を中心に、総合的な探究の時間（玉龍の設定教科名は「グローバルマインド」）の研究発表を行います。

グローバルマインドとは簡単にいうと「地球上に生きる人間として持つべき生きる姿勢・モラル」のことです。具体的には以下の4点と考えていいでしょう。

- (1) 基本的自己表現法を学び、積極的にかつ正確に自分の考え・意思を表現できる。
- (2) 基本的自己表現技法の中でも、特に文章による表現の導入を図る。
- (3) 現代社会の諸問題をグローバルな視点でとらえ、今後の国際社会のあるべき姿を主体的に考える。
- (4) 進路研究を通して、自己理解を深め、将来の自己のあるべき姿を主体的に考える。

週1回のグローバルマインドの時間では、課題別コースごとの研究活動、卒業生や知識人による講演会などを通じて、プレゼンテーション能力や、小論文といった自己表現能力を、培っていくことを目標としています。

玉龍高校の設備

玉龍高校は近年増改築が進み、敷地内に充実した設備がたくさんあります。勉強に励む教室にはエアコンが完備され、それぞれ2つある体育館とグラウンドは行事や部活動でフル活用されています。玉龍高校には生徒たちの行学一体を支える充実した設備が備わっています。



第2グラウンド



教室はエアコン完備



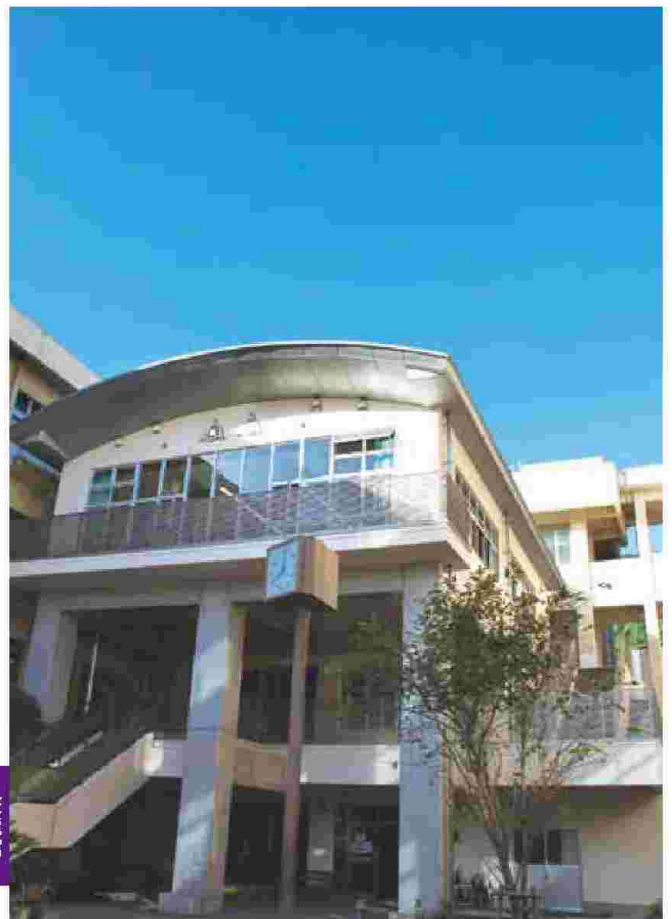
図書館は蔵書数2万冊以上

交龍館

平成19年に完成した交龍館には、玄関ホールに作品鑑賞ができるギャラリー、2つの少人数用の学習室と、放課後自習が可能な多目的スペース「安田ホール」があり、生徒たちの多様な学習をサポートしています。

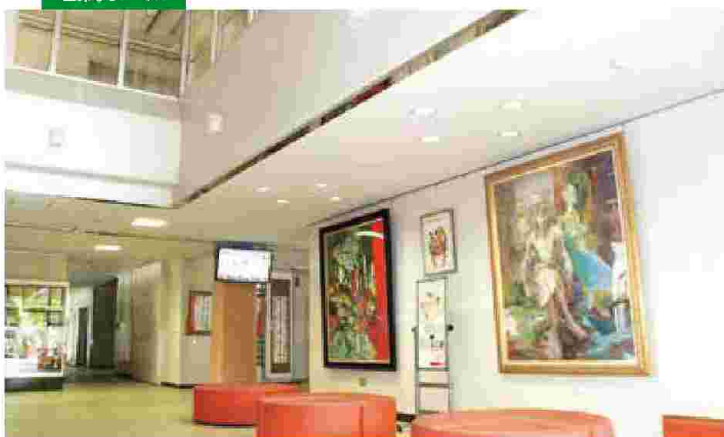


安田ホール



交龍館

玄関ホール



育龍館

平成13年に完成した育龍館には、120人を収容できる校内食堂(1F)と、80人を収容できる宿泊施設(2F)があります。宿泊施設には、浴室や保健室も完備され、部活動の合宿や勉強合宿などに幅広く活用されています。

2階「宿泊施設」



学食

その他、玉龍高校には充実した設備がたくさんあります。平成28年3月に改装工事が終了した芸術棟では、美しく学びやすい環境で芸術の授業が受けられます。同じく3月に改装工事が終了した屋内プールでは、天候に左右されず年間を通して水泳を楽しむことができます。他にも平成26年3月に完成した2階建ての屋内弓道場など、玉龍高校ならではの施設が整っています。また、いつでも使用できるパソコン室やトレーニングルームもあり、生徒たちの自主的な活動を支援し、学習や部活動の活性化につながっています。令和5年にはタブレットを1人1台導入し、学習に活用しています。



美術室



音楽室



屋内プール



屋内弓道場



NEW

学習用タブレット



トレーニング室

玉龍と言えば部活動でしょ!!



Culture

Sports

吹奏楽 合唱 書道 美術
家庭放送 写真 美術
茶道 華道 JRC 百人一首
サイエンス(生物班・天文班) 演劇

野球 バスケット 弓道 サッカー
バドミントン 卓球 ラグビー
バレーボール 陸上 剣道 硬式テニス
水泳 応援団 ソフトテニス



剣道	令和5年度玉竜旗争奪剣道大会 ベスト32 第38回九州高等学校剣道選抜大会 ・男子 団体出場 ・個人 ベスト16 鹿児島県高校総体 第68回新人剣道競技大会 ・男子 団体 3位 ・個人 4位 ・男子 団体 3位 ・個人 ベスト8 ・女子 団体ベスト8
ラグビー	第25回九州高等学校10人制ラグビーフットボール大会 1位トーナメント 3位 第10回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会県予選 第3位 第46回鹿児島県高等学校新人ラグビーフットボール大会10人制の部 優勝
水泳	九州高校総体 ・男子 団体:4×100mフリーリレー・4×200mフリーリレー・4×100mメドレーリレー 出場 個人:50m自由形 出場 ・女子 団体:4×100mフリーリレー・4×100mメドレーリレー 出場 個人:100m平泳ぎ・200m平泳ぎ 出場 鹿児島県高校新人 ・男子 個人:200m平泳ぎ・100mバタフライ・100mバタフライ 出場 ・女子 個人:50m平泳ぎ・100m平泳ぎ 出場 鹿児島県高校総体 ・男子 団体:4×100mフリーリレー 第7位・4×200mフリーリレー 第6位・4×100mメドレーリレー 第7位 個人:50m自由形 第8位・50m平泳ぎ 第6位・50mバタフライ 第2位・第7位 ・女子 団体:4×100mフリーリレー 第8位・4×100mメドレーリレー 第8位 個人:100m平泳ぎ 第3位・200m平泳ぎ 第3位・50m背泳ぎ 第1位 鹿児島県高校新人 ・男子 個人:200m平泳ぎ 第5位・100mバタフライ 第7位・100mバタフライ 第6位 ・女子 個人:50m平泳ぎ 第1位・100m平泳ぎ 第2位 2023年度鹿児島スィムフェスティバル ・男子 個人:200m平泳ぎ 第1位 ・女子 個人:50m平泳ぎ 第1位・100m平泳ぎ 第1位
吹奏楽	第49回九州アンサンブルコンテスト サクソフォン四重奏 金賞 第68回鹿児島県吹奏楽コンクール 高等学校A部門 金賞 第50回鹿児島県吹奏楽ソロ・アンサンブルコンテスト ・ソロ部門 金賞・最優秀演奏者賞 アンサンブル部門 サクソフォン四重奏 金賞
写真	第7回全九州高等学校総合文化祭大分大会写真部門 撮影大会 銅賞 第30回鹿児島県高校写真展 ・高文連賞・専門部賞(九州総合文化祭推薦)受賞
弓道	鹿児島県高等学校弓道選手権大会 女子団体 第5位 鹿児島県高等学校遠的弓道大会 女子団体 第6位
放送	第7回全九州高等学校総合文化祭大分大会 アナウンス部門(第45回九州高校放送コンテスト)出場
美術	2023かごしま総文出場 第7回全九州総文大分大会出場 第74回高校美術展 高文連大賞(全国総文推薦)
陸上	第76回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 南九州地区予選 男子走幅跳、女子100mH 出場 第78回九州陸上競技選手権大会 一般男子十種競技 出場 第41回全九州高等学校新人陸上競技大会 女子100mH 出場 鹿児島県高校総体 ・男子走幅跳 第5位、男子110mH 第7位・男子八種競技 第5位・女子100mH 第6位・女子走高跳 第6位 鹿児島県高校新人 ・男子110mH 第4位・男子400mH 第5位・男子800m 第7位・男子やり投 第8位・女子100mH 第3位・女子4×400mリレー 第8位
バレーボール	第76回鹿児島宮崎対県バレーボール大会 出場 全九州総合バレーボール選手権県予選 ベスト8 県高校総体 バレーボール競技 第5位 全国高等学校選手権大会県予選 第6位 県新人バレーボール大会 第5位
書道	第7回全九州総文大分大会出場 第61回南日本七夕書道展 県知事賞(高校第1席、3年連続受賞) 第72回南日本書道展 優秀賞
女子バドミントン	鹿児島県高校総体 女子団体 ベスト4 個人ダブルス ベスト8(2ペア)
合唱部	鹿児島県高校新人 女子団体 ベスト8 かごしま国体式典での合唱 2023鹿児島総文出場 鹿児島ヴォーカルアンサンブルコンテスト 金賞

高みを目指す剣道部

特集1 剣道部

剣道部は現在、3年生8名、2年生10名、1年生10名の計28名の部員と、3名の顧問の先生方で活動しています。現チームは、男子が全国大会ベスト4、女子が県大会ベスト4という目標を設定し、そのために数多くの県外遠征をこなし、全国の強豪校と切磋琢磨しています。他のライバル校と違い、一日2時間という短い稽古時間ですが、意識を高く、質の高い稽古を日々心掛けています。また、3名の顧問の先生方も、剣道の指導だけでなく剣道修行者としての側面をもち、日々「師弟同行」を実践していらっしゃいます。令和5年度には、男子が鹿児島県高校総体団体の部3位、個人4位に入り、個人の部で九州大会に出場しました。また、7月に行われた玉竜旗大会では、全国から474チーム出場した中で5回戦まで進出しベスト32という成績を収めました。新チームになり県新人大会団体3位、個人戦ベスト8に2名入り、九州選抜大会に出場しました。九州選抜大会では個人戦でベスト16に入ったものの上位進出とはならず悔しい思いをしましたが、全国トップレベルのチームと互角に渡り合い、勝利も上げることができると、着実に力がついているという手応えを感じることができています。ただ、これらは自分たちだけの努力の成果ではありません。2面とれる専用の剣道場や、3名の剣道専門の先生方の指導が受けられる稽古環境、保護者会・OB会・同窓会という「チーム玉龍」のバックアップがあつてのことです。支えてくださる方々への感謝を常に持ち続けることが、剣道だけでなく、人間としての成長にも大きくつながると信じています。これからも、周りの方々への感謝の気持ちを忘れることなく、日々精進し、真の文武両道を目指し努力し続けたいと思います。



美術を通して自分を磨く!

特集2 美術部



私たち、美術部は中高合同で活動しており、現在部員数は28名です。昨年度は数々のコンクールでの入賞や、全国総合文化祭と九州総合文化祭の美術・工芸部門に2名の生徒が出場するなど、多くの結果を残すことができました。

顧問の先生のご指導のもと、仲間と日々切磋琢磨しながら美術活動に励んでいます。

普段は油彩や水彩、デッサン、デジタルアートやイラストなどの手段でそれぞれが自分の描きたいものを自由に表現しています。

また、文化祭や体育祭では看板作成を行っており、話題になったアニメや映画をパネルに部員全員で描き、正門に展示する文化祭の看板は毎年生徒や先生方から好評をいただいています。

美術は自己を徹底的に追求し自分を表現する活動です。作品と長い時間向き合い、頭をフル回転させて、全神経を集中させ、絵の具をキャンバスにのせていく作業は、すぐにできるものではありません。しかし、描きたいものを追求し自分を磨き続けていけば、必ず観察力や表現力が身につき自分の描きたいものが思い通りに描けるようになり、絵を描くことの楽しさや達成感を味わうことができます。

貴重な高校3年間を自分の成長に繋げるために、玉龍美術部で仲間と一緒に過ごしませんか？

吹奏楽を通して「自分を磨く」

特集3 吹奏楽部



吹奏楽部では、中学生・高校生と一緒に協力しながら、吹奏楽を通して「自分を磨く」ことをモットーに、そして九州大会出場を目標に日々練習に励んでいます。

昨年度は、県の吹奏楽コンクールで金賞、九州大会推薦候補にもあげて頂き、吹奏楽連盟が主催するソロ・アンサンブルコンテストでは、出場者全員が金賞を受賞し、アンサンブルコンテストに出場したサクソ四重奏は、九州大会で金賞を受賞するなど、多くの大会で結果を残すことができました。

学校行事では、体育祭や文化祭などでの演奏はもちろん、他にも、4月に行う新入生歓迎コンサート、11月に行うオータムコンサートや12月に行うクリスマスコンサートなどのコンサートを通して、学校を盛り上げています。

皆さん、「吹奏楽の楽しみ」とは何だと思いますか？それは、部員のみんで音楽づくりをしていくということです。特に、コンクールでは団結が必要になります。そのためには、日々

の練習で吹奏楽を通して仲間とともに音楽を作っていくことが大切になります。みんなで、作っていった音楽で良い結果を残せたときは、喜び・感動・達成感が得られます。そして、音楽づくりを通して、「自分を磨く」こともできます。音楽づくりを通して、仲間の絆を深めたり、相手のアドバイスを聞いて学び、自分の技術を高めあったりします。

このように楽しく音楽づくりができるのは、玉龍の吹奏楽部、「玉吹」ならではのです。

中高一貫という強みを生かして、中学生と高校生が一つとなって楽しく音楽づくりをして、「自分を磨く」ということを忘れずに活動をしていきます。あなたもその一員になりませんか？玉龍で過ごす時間を私たちと一緒に音楽づくりで楽しみましょう！

「不屈の闘志」10年連続全九州総体出場

特集4 水泳部

鹿児島玉龍高校水泳部は2013年から毎年、全九州高等学校水泳競技大会、全九州高等学校選手権新人水泳競技大会に出場している実績のある部活です。令和5年度は佐賀県で行われた全九州高等学校水泳競技大会に10名、福岡県で行われた全九州高等学校選手権新人水泳競技大会に3名の出場を果たしました。現在は1年生7名、2年生3名、3年生1名の計11名で活動しています。

練習は室内温水プールで行っているため、天気や季節に関係なく1年中泳ぐことができます。また、クラブチームのコーチが指導して下さるため、質の高い練習メニューや、充実したトレーニング器具を使用した陸上トレーニングもしています。

水泳は0.01秒を競い合うスポーツです。常にどのようにしたら速く泳げるかを考え、水の抵抗の少ない泳ぎや効率的で美しい泳ぎなどを追い求めています。また、水泳は個人競技であり自分自身との戦いです。どんな練習も自分自身を限界まで追い込まないと強くなることはできません。玉龍高校水泳部は「不屈の闘志」というスローガンのもと、どんな困難にも負けず、絶対に諦めないという思いで練習に取り組んでいます。

水泳は練習を頑張るだけでは泳ぎは良くなりません。部活の仲間や先輩、後輩とのコミュニケーション、顧問の先生やコーチとの信頼関係もとても大切です。もちろん家族のサポートのおかげで私たちは泳ぐことができます。感謝の気持ちも忘れてはいけません。

玉龍高校水泳部は仲の良い部員たちと笑顔溢れる楽しい部活です。みなさん、ぜひ玉龍高校水泳部に入部してください。私たちと一緒に泳ぎましょう！！



アクセスMAP



- JR・JR九州バス ① JR 鹿兒島駅 鹿兒島駅から徒歩15分
- 市電 ⑥ 桜島棧橋通から徒歩15分
- 南国交通バス ② 清水町下車7分 ③ 上竜尾町下車5分
⑤ 玉龍高校前下車3分
- 鹿兒島交通バス ② 清水町下車7分 ④ 久保皮膚科前下車3分
- 市バス ③ 上竜尾町下車5分

玉龍HPの紹介

玉龍高校公式ホームページと進路室が発信している進路ブログがあります。是非見に来てください。



玉龍高校公式ホームページ
<https://www.keinet.com/gyokuk/>



玉龍高校進路ブログ
<http://gyokuryuu.exblog.jp>



お問い合わせ

〒892-0806 鹿兒島県鹿兒島市池之上町20番57号 TEL 099-247-7161 FAX 099-248-3160



鹿児島玉龍高等学校

KAGOSHIMAGYOKURYU HIGHSCHOOL